

# はもりあ

「はもりあ」とは造語で、女性と男性の協働という素敵な“ハーモニー”が奏でられる“中核エリア”という意味です。

2006年10月に公募で決定した男女共同参画センターの愛称です。

2009年8月1日発行

むし暑い日が続いています。皆様、いかがお過ごしですか？ 体調管理には気をつけてくださいね。さて、はもりあ四日市では、「男女共同参画センターって何？ どこ？」という今まで利用したことがない子育て中の方々に来ていただくために、昨年度から「夏休みこどもさんかくカレッジ」を企画しています。今年は、まちづくり達人塾や四日市おもちゃ病院の皆さんに協力していただき、クイズや工作を実施します。また、男性同士の子育てに関するコミュニティづくりと男性の育児参画を支援するために、「大好きパパとそばうち体験」を実施します。7日まで参加者募集中です。来てね！



## 管理職及び男女共同参画推進員研修を

### 7月15日に開催しました！

四日市市は、男女共同参画社会の形成のためには、「まず職員の意識改革が大切！」という考え方に立って、毎年管理職と男女共同参画推進員を対象に研修を行っています。

今年は、「自治体として、いまワークライフバランス(WLB)を戦略として進める意義」をテーマに、(株)東レ経営研究所 ダイバーシティ&ワークライフバランス研究部長の渥美由喜氏にご講演いただきました。

#### WLBの目的は？

WLBの目的は、メリハリのある仕事で生活にゆとりをもたらし、そして、ゆとりある質の高い生活が質の高い仕事につながるという、ワークとライフの相乗効果を引き出し、好循環を生み出すことです。

#### 男性こそ育児休業を！！ マネジメント力向上の絶好のチャンスです！

先生は、講演で、ご自分の半年間の育児休業経験を紹介されました。先生は休業前、自分では6：4で家事分担をしているつもりだったそうですが、妻からは9：1だと言われ、育児休業前に家事の猛特訓を受けたそうです。

育児休業を通じて、普段と役割を変えたことで、新しい「気づき」が生まれた。また、家事は家の誰かがすることではなく「自分の事」と思うようになり、家事をやってくれていた妻に対して感謝の気持ちが生まれ、自分も気がつけば自然と体が動くようになった。そして、家事育児全般をこなすうちに身についたマルチ業務遂行力、時間制限がある状態で発揮する高度な集中力、時間の有効活用のための業務整理力(優先順位付けと業務の棚卸し)などは、WLBを実現していくうえで多くのメリットとなっているとのことでした。

#### WLBはまず市役所から！

講演会で、市民には「家庭人」「職業人」「地域人」の3面があり、これらのバランスが取れていることが重要だという話がありました。仕事を持っていると、どうしても「職業人」としての時間の割合が多くなってしまいます。四日市市職員も同様です。市民や地域のニーズを把握するためにも、地域社会で今以上に重要な役割を果たすためにも、市職員は、「地域人」という立場を重視する必要があるということを今回の講演で学びました。

WLBの実現を「まず市役所から！」発信していきたいと思えます。



講演する渥美先生（総合会館）

今すぐ仕事に就きたい！ そんな女性のための講座です。就職に役立つノウハウを2日間集中で学びます。このカレッジは、三重県・ハローワーク四日市・マザーズサロン四日市と共催で開催します。

	日時	内容
9月8日 (火)	10:00～12:00	就職への道～就職活動の実際～
	13:00～15:00	面接で好感度を上げる方法
9月9日 (水)	10:00～12:00	目にとまる履歴書の書き方
	13:00～15:00	グループディスカッション&模擬面接



(対象) 介護や育児で離職し、再就職を考えている市内在住の女性で、2日間連続で受講できる方。

(場所) 本町プラザ2階 第1会議室 (受講料) 無料

(定員) 24名(申込多数の場合は抽選) (締切) 8月25日

### 申込方法

住所・名前・電話番号・託児の有無(託児希望の場合はお子様の名前と年齢)を、電話・ファクスまたはメールで、はもりあ四日市までお知らせください。連絡先は、本紙裏面を参照してください。

## 「三重の女性史」、完成間近！！

三重県男女共同参画センターと有志のみなさんが5年の年月をかけて取り組んできた、「三重の女性史」が11月13・14日の男女共同参画フォーラムでいよいよお披露目されることになりました。

今回から3回にわたり、編纂に携わった坂倉加代子さんに「三重の女性史」について執筆していただきます。

### 「三重の女性史」が、この秋刊行される！

2005年に、三重県男女共同参画センターが本づくりを呼びかけ、県民参加で着手。

「立派な“三重県史”があるのに・・・」と、その必要性を問う声もあったが、“三重県史”からは、女性の姿が見えてこない。そこで、あたりまえの女性たちに視点を当て、明治・大正・昭和の歴史を見てみようというものだ。

人口の半分を占める女性たちは、どのように泣いたり笑ったりしていたのだろうか？



私達女性20人の調査研究員が、資料収集に取り掛かり、まず新聞を読む。私は昭和29年から3年間を分担した。紙面に並ぶ地方議員当選者の顔写真は男性ばかり。ミス四日市の他に女性の写真が出てこない。やっと昭和30年6月3日の中日新聞に、“四日市市の前川与志枝さん、女性初の支所長心得”と書かれた小さな記事と顔写真を見つける。思わず拍手を送りながら、今も“初の女性”が続いていることを思った。

じっくり読み進めると、家から一歩踏み出した女性たちの動きが見える。新生活運動を掲げた地域婦人会活動。活発な活動の中に、嫁と姑が同席する“嫁と姑学習会”の記事があった。その場面を想像すると女性のおおらかさが伝わってくる。“四日市市の保育園入所希望、定員の5倍”というニュースは、「私も働きたい」と叫ぶ女性たちの声と読んだ。

私は、新聞を繰りながら、“三重県史”の陰に隠れた女性の歴史を実感していった。



# 殴る・けるだけが、DVではない！

はもりあ相談室から

夫の顔色をうかがっているうちに、自分がどうしたいのか、わからなくなる……

はもりあの相談室では、さまざまな相談が寄せられますが、なかでも多いのがDVの相談です。

DV(ドメスティック・バイオレンス)とは、ここでは「親密な関係にあるパートナーからの暴力」のことを言います。

内閣府の調査によると、3人に1人の女性が、何らかのDV被害を受けていることがわかりました。また、暴力を振るうのも一部の男性ではなく、普通の人です。

## たとえば これもDV！

- ・罵倒したり、怒鳴ったりする
- ・友人や実家との付き合いを制限する、行動の監視
- ・生活費を渡さない
- ・一方的な性交渉を強いる
- ・メールアドレスを勝手に削除する
- ・物を投げる、大切な物をこわす

「暴力」の形は、身体的、精神的、性的、経済的など、さまざまな形があります。見逃していけないことは、DVの加害者は「暴力」という手段を自分で選んでいるという点です。

DVを受け続けると、女性たちは夫の顔色をうかがい、びくびくしながら暮らして自信をなくしていきます。ひとりで抱えていないで、相談員と一緒に考えていきましょう。

☎ 354 - 8335 まずは、電話相談を！ 火~土 9:00~12:00 13:00~16:00



## 今月のおすすめ本

9月に女性の再就職準備講座を開催します。

この講座にちなんで、今月はもう一度就職したい女性を応援する本を紹介します。

### 「ママも今日から働くワ！」

キャリアコンサルタントの著者が書いた、主婦の再就職のための本。「いつから働く?」「何の仕事をする?」「なぜ働く?」「どこで働く?」「どうやって働く?」「いくら収入をめざす?」「仕事はどうやって探す?」という目次で書かれています。漠然と「働きたい」と思うのではなく、5W3Hに分けて考えることで、自分がどんな仕事につきたいのかをはっきりさせることができます。再就職を現実的に考えるために、とてもいい本です。

### 「私は両立! 働くママの仕事と育児」

仕事と妊娠生活の両立、産休・育休の基礎知識、再就職の方法等々、仕事と育児の両立のためのさまざまなアドバイスが書かれている本です。

また、ちょっと知りたい法律や制度のQ&Aもついています。オールカラーでイラスト・写真もいっぱい。しかも319人の働くママのアドバイスつき。手が空いたときに少しずつ読んでください。



## 今月のキーワード

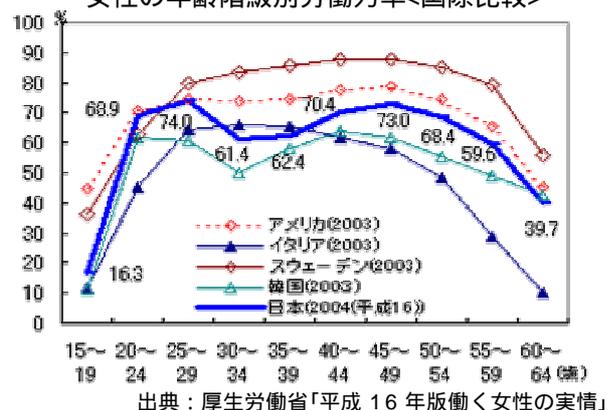
### M字型曲線

日本の女性の就業率を年代別に見た時、アルファベットのMに似ていることから「M字型曲線」と呼ばれています。

これは、結婚、出産、育児の期間は仕事を辞めて家事に専念し、子育て終了後に再就職するという女性のライフスタイルを示しており、女性が育児期間に仕事を続ける環境が整っていないとも言えます。このような働き方をしているのは、世界でも日本と韓国だけです。

また、育児期間を終えてからの再就職はパートタイムなどの非正規雇用が多く、低賃金で社会保険などの保障も少ないです。そのため、男性との生活賃金の格差や将来もらえる年金が少なくなるなど、高齢女性の貧困問題の原因ともなっています。

女性の年齢階級別労働力率<国際比較>



## 登録グループイベント情報

### 8月 6日(木) スロー体操

体の弱っている所を発見して生活をひろげませんか？理学療法士の徳力さんに指導していただきます。

時 10:00～12:00 費 無料 所 はもりあ四日市 会議室 持ちもの 500cc ペットボトル 2本  
問 まんなか 金森 (TEL059-353-5893)

### 8月 20日(木) 水あそびと絵の具あそび

プールで遊んだり、絵の具で手型足型をとったりして楽しく遊びましょう。

時 10:30～12:30 費 500円(会員200円) 所 四日市まんなか子ども劇場「きらら」  
問 四日市まんなか子ども劇場 (TEL059-351-6670)

### 8月 21日(金) 「泉鏡花を読む」この世ならぬ幻・魔力を描く作家

『薬草取』『高野聖』『草迷宮』を読みます。講師は河原徳子先生。当日自由参加で予約は不要です。

時 13:30～15:30 費 500円(資料代) 所 はもりあ四日市 会議室  
問 よっかいち朗読文学の会 雨沢(TEL059-337-1873)

### 8月 22日(土) Let's ファミリーキャンプ 2009

家族で自然を楽しむ DAY キャンプです。ニジマスのつかみ取りや川遊びなど内容も盛りだくさんです。

時 10:00～15:00(現地集合・現地解散) 費 お問合せください 所 朝明茶屋キャンプ場  
問 子育て広場 ドロップ in (TEL/FAX059-363-3728)

## 登録グループ紹介

はもりあ四日市に登録されているグループさんを紹介していきます。今回は、四日市おもちゃ病院さんです。

# 四日市おもちゃ病院

代表者 藤山 廣 登録ドクター 11名  
連絡先 059-351-6670

(四日市まんなか子ども劇場)

ボランティアで、四日市まんなか子ども劇場「きらら」にて壊れたおもちゃの修理を、奇数月に行っています。

創立して5年目、今年4月に菰野のグループから四日市のグループとして独立しました。新ドクターを募集しています。初めての方でも挑戦する意欲さえあれば大歓迎です。一度見学にいらっしやいませんか？



### 四日市市男女共同参画センター (はもりあ四日市)

〒510-0093 四日市市本町 9-8 本町プラザ 3F  
TEL.059-354-8331 FAX.059-354-8339

●開館時間 AM9:00～PM9:00

●休館日 日曜日、月曜日、祝日、年末年始

Eメール [kyoudousankaku@city.yokkaichi.mie.jp](mailto:kyoudousankaku@city.yokkaichi.mie.jp)

<http://www.city.yokkaichi.mie.jp/danjo/index.shtml>